

2018年3月6日

VRとAIを活用した360°で表示するバナー広告事業に参入

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、クリック率が高く訴求力のあるバナー広告の需要拡大が見込めることから、インターネットのバナー広告を360°の画像で表示するバナー広告事業に参入いたします。その一環として、360°の広告画像の提供から広告の効果測定など*1を行うサービス「[RICOH 360 for Ad](#)」を提供開始します。



バナー広告のイメージ

<RICOH 360 for Ad の主な特徴>

1. VRとAIを活用して広告画像内の注目すべき箇所を自動で抽出、クリック率アップ
 - ・ リコー独自の360°の画像注目領域アニメーション技術(特許出願済)を活用し、これまでに撮影された360°の画像を学習することで、広告写真の中で注目すべき箇所を自動で抽出します。これによって、広告画像を水平に回転させるだけでなく、訴求したい領域が自動で映るようになります。
 - ・ 静止画の広告画像のクリック率と比較しても、本サービスによる360°で表示するバナー広告のクリック率は約1.5~2倍(自社実績)向上します。
2. 静止画にもかかわらず、上下左右360°全てを表示可能、低容量で訴求力が向上
 - ・ ワンショットで360°の全天球イメージを撮影できるカメラ「RICOH THETA」で撮影した360°の広告画像は、上下左右360°全てを表示することができます。
 - ・ 静止画なので、広告画像のファイルサイズは動画と比較しても低容量で、広告を掲載するサーバーへの負担を抑えられます。一方で、上下左右360°に動いて表示されるため、広告視覚効果は動画と同等になります。

*1. 本サービスには2つのプランがあり、選択いただくプランによってサービス内容が異なります。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2017年3月期リコーグループ連結売上は2兆288億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>